



# 58組合 大幅にふえた納税組合

3,168人

## 納税意識 向上のあらわれ

### 町財政に大きく貢献

納税の義務は憲法第三十条に定められていますが、なかなか納税にしないのが現状です。しかし、どうせ納税しなければならないものであれば、少しでも有利な、しかも気持ちのいい方法で納税にしたいことはあります。そんな目的から考えられたのが納税組合です。金木町の納税組合の状況をなめてみると、昭和三十年にわずかに三組合、百五十八人であったものが、三十五年には十六組合、八百五十八人、四十年には実に五十八組合、二千六百六十八人と大幅な増加を見せています。

町の税務課では、徴税費(税金の徴収に要する費用)の節減と、納税者の利益を考慮し、納税貯蓄組合を組織することを入念にすすめてきました。

昭和四十年十一月末日現在で組合数五十八、組合員数三千百六十八人に達し、大きな成果をあげています。

このほか、新しく組合をつくる時は、準備金の名目で、役場から千円、組合員一人につき十円、

## ヨーロッパ・東南アジアを回って



昨年の十二月、ヨーロッパの社会保障制度視察のため、デンマーク、イギリス、フランス、イタリアなどを訪問したあと、戦乱の南ベトナムを回り、十二月十五日無事帰国しました。帰国のあいなつを兼ね、外国旅行の印象を簡単に記してみたいと思います。

### 清潔な街

ヨーロッパを回り、一番最初に、しかも強く感じたことは、ヨーロッパの社会保障が進んでいることだ。

### うらやましい老人ホーム

老人ホームに入っている人たちの表情も明るく、また働いている青年たちも老後の生活が保障されているのでのびのびと希望をもって働いている様子です。

### 納税組合の現況

組合名	組合長	組合員数	組合名	組合長	組合員数
成田清一郎	86	嘉下町	瀬谷新一	51	
中西信吉	42	下町	谷崎金四郎	63	
津島正義	68	新町	鳴海良逸	34	
其田正義	34	古町	岩村保正	35	
三瀧正芳	41	上下町	土岐貞助	57	
外崎五郎	42	下南町	高橋松太郎	56	
工藤勇義	84	柏木町	中村本真	50	
吉田七郎	108	下派町	伊丸政美	51	
秋谷清逸	84	下野町	伊藤緒之七	66	
白川秀三郎	39	林川町	小野孝一	51	
前田政雄	54	川端町	岡田勝一	59	
田中清一郎	65	川上町	伊丸岡秀雄	42	
和田三郎	50	西見町	大橋喜八郎	19	
外崎森蔵	28	更生部	桜井平内	34	
津島久五郎	53	北本	新岡清三郎	49	
白川兼春一	45	共下	木田慶作	34	
佐藤繁男	44	上双	桑田哲男	49	
山崎美子	57	派	今堅次郎	30	
片岡千雄	54	派	中村善三郎	51	
小山内美平	37	派	黒田源三郎	45	
伊藤勝雄	71	派	北川亥之助	29	
山中政太郎	65	派	角田敬一	72	
木村与八郎	139	派		28	
津田次郎	53				
沢田京五郎	66				
山中岐山	43				
土岐勤作	79				
原田	79				
	61				
	73				

### 成人式にかり、成人の集い

#### すべての成人を対象に開く

一月十五日は成人の日で、町では今まで毎年成人式をやってきました。しかし、今年一たびは、次のような理由で式はやらないうことになりました。

組合の増加につれ、税金の徴収に要する人手、あるいは費用がかなり節減になり、その分できる仕事をふりまかせることができたわけ、納税組合は正に百二馬力、あるいはそれ以上の効果があることになりました。

席上、突然私に日本側代表として、通訳つきで英連の議事を傍聴することができました。議場には、日本のように野党の対立という緊迫したふんいきはなく、話し合いのムードに満ちているという感じで、野党議員は質問、政府側は答弁というさまじきやりかたがなく、大臣も野党議員の考え方に疑問のある時は、逆に質問し、野党議員がこれに答えるという場面もありました。

議論はあくまで話し合いの場であり、双方が納得のいくまで討論するというところに徹しているように、さすがに議政治の本来だという印象を受けました。

## 話し合いの場

島駐英大使の特別の計らいにより、通訳つきで英連の議事を傍聴することができました。議場には、日本のように野党の対立という緊迫したふんいきはなく、話し合いのムードに満ちているという感じで、野党議員は質問、政府側は答弁というさまじきやりかたがなく、大臣も野党議員の考え方に疑問のある時は、逆に質問し、野党議員がこれに答えるという場面もありました。

議論はあくまで話し合いの場であり、双方が納得のいくまで討論するというところに徹しているように、さすがに議政治の本来だという印象を受けました。

### ベトナムで平和のありがたさを

ベトナムで平和のありがたさを、一日も早い平和的解決を祈ることは、平和のありがたさをしみじみと感じました。原因がなんであれ、ひとりベトナム民族の悲劇であるばかりでなく、世界の悲劇であることには、一日も早い平和的解決を祈ることは、平和のありがたさをしみじみと感じました。

### 除雪に万全の備え

毎冬になると困るのが交通の問題。とくにこの頃は自動車が多くなったので交通を確保することがますます重要になってきました。しかし、昨年まで役場のブルドーザー一台で除雪していたのが、今年からは除雪用の車が三台配備になり、すでに除雪に活躍を始めています。

今年配備になったのは、ロータリー車、ブルドーザー、六輪大型除雪車の三台ですが、これらは主に県道の除雪に当たり、役場のブルドーザーが町道の除雪に当たることになりました。そのほか嘉瀬、金木間に雪下りの道をふくらませ、交通の確保に備えているので、今年の冬の交通事情は、かなりよくなるのではないかと期待されています。

### 今年も町内の学校に贈り物

金木町出身で、現在ニューヨークで食堂を経営している藤元さんは、毎年町内の学校に贈り物を贈り感謝されていますが、今年も金木小、中、高校と三万円を役場あてにいたしました。町では近日中に各校に対して二万円ずつ贈ることになっています。

### 優良市小の特別教室できる

喜良市小の特別教室が完成した。今年一月十五日に、町内の第一保育所で三人の講師による講演会を中心とした成人の集いを開きました。

### りんご愛用県民運動

りんごは米につぐ大きな産物ですが、近年、りんごをとりまく諸情勢はいよいよよきよきを呈し、とくに販売面においては、みかんを始めとする競合果物の増産、輸入バナナの影響などによって、その消費は伸び悩み、価格も低迷を続けており、県民がこぞりんごを愛用し、青森県が自ら、青森りんごの消費振興の力強い基礎となることを目的に、次の要領で「りんご愛用県民運動」を展開中である。

一、実施期間 昭和四十二年一月二十六日から昭和四十三年三月三十一日までとする。

二、運動の推進機関 県および市町村とする。

三、運動の内容

(一) 県および市町村においては、各種の集会、来客接待などには必ずしもりんご加工品を使用するよう努めるとともに、職員がりんご愛用を促進するために、職場あつせんなどを行なう。

(二) 家庭におけるりんご加工品の愛用を奨励するとともに、とくに料理にりんごを取り入れるよう努め、県内各地で料理講習会を開く。

(三) 贈答用には、りんご加工品を積極的に使用するよう努める。

(四) おこなうものには、りんごを使用するよう努める。

(五) 県内の旅館、料飲店および病院などにおいて、一般県民のほかとくに県外の来客に対して、りんごおよびりんご加工品をできるだけ提供してPRにつとめる。

### 農業委員会委員選挙人名簿縦覧

金木町農業委員会委員選挙人名簿が、昭和四十二年一月二十一日現在で調整されましたから、左記により、この名簿の縦覧をいたさせていただきます。自分の名前が名簿に登録になっているかどうか確かめるようにしてください。

一、縦覧および異議申し立て期間 昭和四十二年一月二十一日から二月三日まで(十五日開)午前八時半から午後五時まで。

二、場所 金木町役場。

金木町選挙管理委員会

### 償却資産申告のお願い

次に掲げるような事業用の償却資産を所有している方は、一月三十一日までに町役場税務課に申告してください。なお、すでに申告用紙が配付になっている場合は、配付用紙に記入していただければ、申告用紙がなくても大丈夫です。お忘れなく。

①農業用の場合 動力噴霧機、動力脱穀機、動力耕耘機、スピード・スプレヤー、トラクターなど。

②営業用の場合 映画機、医療、美容、製材所、木工所、精米所、料理店、旅館、洗濯店、自動車修理工場、味、しょう油、納豆など、営業用に使用している器具、機械、および備品。

金木町役場税務課